

COW (社協地域担当職員)
東大阪市社会福祉協議会
CSW (コミュニティソーシャルワーカー)
東大阪市

**令和元年度
活動報告書**

・ 令和元年度 巻頭言	1
・ 地域との協働（社協地域担当職員活動事例）	
1.東地区	3
2.中地区	4
3.西地区	5
・ 社協地域担当職員の主な活動内容について	6
・ 地域福祉ネットワーク推進会議	7
・ CSW活動事例	
個別支援から地域支援へつながった事例	9
民生委員と協働して社会的孤立を予防した事例	11
・ CSWの相談件数と主な内容について	13
・ 地域の方や専門機関からのメッセージ	14
・ COW（社協地域担当職員）配置施設一覧、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）配置施設一覧	

令和元年度 巻頭言

**「現在の深刻な現状に、
公助・共助・近助・自助が一丸となって立ち向かっていこう！」**
～コミュニティソーシャルワーカー(CSW)&コミュニティワーカー(COW)に求められるもの～

大阪教育大学 新崎 国広

1. 最近の厳しい状況を踏まえて

昨年、中国武漢市付近で発生した新型コロナウイルスによる肺炎感染の拡大は、とどまることを知らずパンデミック（世界的な大流行）の様相となっています。日本においても学校の一斉休校や、イベントの中止、外出の自粛等々、国民の日常生活に深刻な影響を与えています。

加えて、新型コロナウイルスの感染拡大で国内での消費の落ち込みや外国人旅行者の激減等々、経済にも深刻な影響がでています。このような「先が見えない」現在の状況は、住民の不安感を増大させ、精神的な落ち込みや生活困窮に陥る人々が増加することも危惧され非常に厳しい状況であるといえます。

このような状況だからこそ、生きづらさを抱える人々に積極的に寄り添い伴走型支援を行っていく「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」や、共助・近助による支えあいを住民と共に創り出していく「社協地域担当職員（コミュニティワーカー、COW）」の役割は非常に重要です。

2. 地域福祉の現状と課題

従来、日本の公的な福祉サービスは、高齢者・障害者・子どもといった対象別に支援を展開してきました。しかし、少子高齢化の進行に加え、従来の分野別の施策・サービス提供では解決できない、例えば「8050問題」「セルフネグレクト」「貧困の連鎖」「生活困窮世帯の増加」等、従来の申請主義による公的な福祉サービス提供のみでは解決が困難な、複合的かつ深刻な問題が顕在化しています。

一方、住民の「福祉に対する無関心化」の問題も非常に大きな地域福祉の課題になっています。昨年、策定した東大阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画のためのアンケートでも、地域活動に参加している人々の割合が低下していることが明らかになりました。

地域福祉のミッション（社会的役割）である「コミュニティ機能の再生」「社会的孤立や孤独感の防止・解消」「個別支援活動を通して地域の共助づくりを推進する」といったCSWやCOWの役割が、まさに今こそ重要になってきているといえます。

3. CSWとCOWの連携協働による地域福祉の推進を目指して

東大阪市には25中学校区があります。まず、2005（平成17）年度に8名のCSWが配属されました。現在は5名増員され13名のCSWが複数の中学校区を担当し活動しています。2012（平成24）年度からは、「個別支援から地域支援への総合的な支援体制」の構築を目的として、13名のCSWに加え各リージョンに配置された7名のCOWが合同で月2回連絡会・研究会を開催しています。さらに、2014（平成26）年度からは、CSW・COW計20名のリーダーでありスーパーバイザー的役割を担う統括職員スーパーバイザーが配置されました。

市の財政が厳しい中での着実な増員の背景には、①CSWやCOWの機能と役割が東大阪市地域福祉計画や地域福祉活動計画に明確に位置づけられている点。②配置当初から、民生委員児童委員協議会・校区福祉委員会・自治会等への地道なアウトリーチによる普及啓発活動を積極的に行っており、住民の身近な専門職として定着してきている点。③相談支援実績によって民生委員児童委員や校区福祉委員会等の住民からCSWの配置を望む声が行政に寄せられている点等が考えられます。

CSW&COWが多職種連携・地域協働を具現化する地域福祉のコーディネーターとして、「助け上手、助けられ上手（上野谷加代子）」になって、住民や行政、他の専門機関等に信頼される専門職として、活動していくよう応援していきたいと思います。

地域との協働（東地区）

縄手北校区福祉委員会

縄手北校区福祉委員会では、どんな時でもご近所さん同士で支えあうことができるような地域づくりを目指しています。校区福祉委員活動を通して、世代を超えたつながりづくりを行うことができるように、行事には誰もが気軽に参加することができるように日頃からの声掛けを心がけて活動しています。

ふれあいの集い

お食事会を開催。地域の方が演芸や体操の実施に加え、役員さんが研修会で学んだ内容を伝達するなど地域一体となった取り組みをしています。



介護予防教室

各専門機関を招き、健康教室や交通安全教室等を行っています。地域の皆さんの勉強になるお話を頂き様々な予防に努めています。



ふれあい祭り

世代間交流の一環として数か所の自治会館内外で実施。世代を問わず、多くの方が参加することでつながりづくりができています。



敬老大会



東体育館で開催される恒例行事の敬老大会は、子供から大人まで集い、お祝いムードで大変盛り上がります。



防災訓練

毎年開催！防災訓練！
大勢の参加者があり、防災意識の高さが伺えます。



車椅子体験



炊出し訓練



171伝言ダイヤル



防災マップ



土のう造り



水消火器

地域との協働（中地区）

成和校区福祉委員会

成和校区は東大阪市北部に位置し、校区内には国の重要文化財に認定されている『鴻池新田会所』があります。また成和小学校では1,137名の生徒が通学しており、東大阪市内でも一番の在学数となっています。

成和校区福祉委員会では、一人暮らし高齢者を対象に「すぎのこ会」としてサロンやグラウンドゴルフを開催しています。年間を通じて参加されている方に楽しんでもらえるよう委員長を始め、委員の主力メンバーで企画しています。

すぎのこ会

サロン活動の様子



体操・健康講話・手作り作品の作成等をしています。
最近では、男性の参加も増えています。



食事会の様子



年に3回開催される食事会では、お弁当も好評で食事後に行われる演芸は毎回盛り上がります♪

防災訓練



毎年防災訓練を開催し、地域住民の防災意識を高めています。



敬老会



敬老の日に成和小学校で開催しています。令和元年度で34回目の開催となりました。様々な演芸が披露されます。

地域との協働（西地区）

長瀬東校区福祉委員会

長瀬東校区は、金岡公園の北端から中央環状線を越え、近鉄久宝寺口駅の西200mに至る南北に細長い地域です。長瀬川が校区の真ん中を貫き、高層マンションも無く、緑の多い住宅地です。

校区の特徴は、自治連合会が「かなめ」となって、諸活動に取り組んでいるところです。

役員・地域住民の「地域のネットワーク」と行政が連携し協働して、「気くばり・目くばり・思いやりの心」で「安全で安心して快適に暮らせるまちづくり」をめざして日々活動しております。

いまいきサロン ひまわり会



手作り作品



伝統食作り

1番長く続いている活動です(^^)最後は、お茶とお菓子がです。



近大生とミニ防災

初めての試み☆☆☆
大学生ボランティアに協力依頼！
楽しく学べる防災を実施！！

ふれあい喫茶 クローバー



おいしいパンにゆでたまご、
香り高いコーヒー…
贅沢なひとときが過ごせます♪

長瀬川ウォーキング



春は満開の桜を見ながら…
(←金岡公園にて)



サロンよりも気軽に
参加できるウォーキング♪
みなさん自分のペースで楽しく
おしゃべりしながら歩きます(^^)

【その他の小ネット活動】

- ◎ふれあいの会囲碁将棋クラブ
(世代間交流)
- ◎あすなろ会(高齢者俳句)
- ◎カラオケ教室(新生会)
- ◎声掛け見守り活動



1月：新春のつどい

9月：敬老のつどい



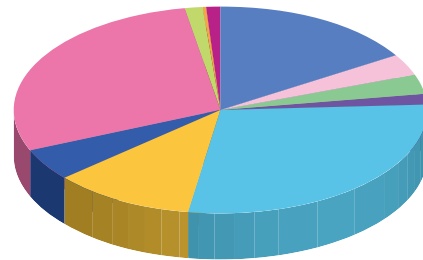
10月：ふれあいカーニバル

社協地域担当職員の主な活動内容について

対応先		件 数		
関係機関等		相談支援等	アウトリーチ	計
1	校区福祉委員会	2,218	1,454	3,672
2	校区自治連合会	65	51	116
3	自治会	242	118	360
4	校区民生委員会	33	36	69
5	民生委員・児童委員	59	33	92
6	福祉事務所	6	1	7
7	保健センター	100	18	118
8	行政関係(6. 7を除く)	123	38	161
9	福祉専門機関	533	199	732
10	市民・ボランティア・NPO	343	113	456
11	その他	258	86	344
合 計		3,980	2,147	6,127

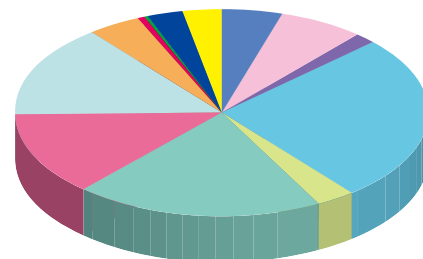


相談支援等の内訳		件数
1	情報提供	598
2	相談援助	125
3	資材・機材の提供、貸し出し	117
4	ボランティア保険加入手続き	59
5	事業・行事の支援	1,053
6	福祉委員会の運営等の支援	416
7	まちづくり等の相談支援	184
8	打ち合わせ	1,064
9	会議等への出席	50
10	研修会等への出席	14
11	個別ケースの対応	31
12	その他	218
合 計		3,929



- 1. 情報提供 ■ 2. 相談援助 ■ 3. 資材・機材の提供、貸し出し
 ■ 4. ボランティア保険加入手続き ■ 5. 事業・行事の支援
 ■ 6. 福祉委員会の運営等の支援 ■ 7. まちづくり等の相談支援
 ■ 8. 打ち合わせ ■ 9. 会議等への出席 ■ 10. 研修会等への出席
 ■ 11. 個別ケースの対応 ■ 12. その他

アウトリーチの目的		件数
1	地域福祉活動の啓発	102
2	会議の参加・開催	147
3	研修会の参加・開催	32
4	小地域NW活動支援	563
5	介護予防事業の推進	68
6	校区福祉委員会活動支援	419
7	地域活動支援	276
8	連携強化・連絡調整	315
9	防災関連	86
10	苦情等への対応	0
11	相談支援の為の調整	11
12	制度・施策へのつなぎ	2
13	助成金情報等の提供	8
14	事業行事等への講師調整	59
15	その他	62
合 計		2,150



- 1. 地域福祉活動の啓発 ■ 2. 会議の参加・開催
 ■ 3. 研修会の参加・開催 ■ 4. 小地域NW活動支援
 ■ 5. 介護予防事業の推進 ■ 6. 校区福祉委員会活動支援
 ■ 7. 地域活動支援 ■ 8. 連携強化・連絡調整 ■ 9. 防災関連
 ■ 10. 苦情等への対応 ■ 11. 相談支援の為の調整
 ■ 12. 制度・施策へのつなぎ ■ 13. 助成金情報等の提供
 ■ 14. 事業行事等への講師調整 ■ 15. その他

地域福祉ネットワーク推進会議

地域福祉ネットワーク推進会議は、高齢・障害・児童の分野を超えた専門機関の「顔の見える関係づくり」を構築して、制度の狭間にある人や複合多問題を抱えた人の支援において、さらなる多職種連携の強化を目指しています。専門機関は、高齢・障害・子どもなどの分野で、支援を必要とする人への福祉サービスを提供していますが、少子高齢化や、核家族化の進行による地域のつながりの希薄化などにより、地域住民の抱える地域生活課題は複雑化、多様化しています。

これまでの制度では十分な支援が行き届かない「制度の狭間」の問題・課題に、関係機関が迅速かつ適切に対応するためには、分野を超えた専門機関どうしの連携が不可欠であり、地域住民や地域における支援者、社会資源などとも連携し、さまざまな人が絡み合う重層的な地域福祉ネットワークを構築していくことが重要です。

第1回 地域福祉ネットワーク推進会議

＜東地域＞「複合多問題事例を通して、様々な職種の立場から考える。

～4世代家族の個別支援からつながる支援～」

それぞれの分野ならではの視点や気づきについて知るとともに、情報共有をおこない、他分野とのつながりの大切さを学びました。

＜中地域＞「一緒に考えよう～知っているようで、知らない「ひきこもり」～」

誰にでも起こりうる事なのに、知っているようで知らない“ひきこもり”について知るとともにグループワークにて意見交換し、どの分野にも関係することを再確認しました。

＜西地域＞「わたしの福祉職への一歩～みんなで楽しく語らおう～」

福祉職に携わるきっかけを共有した上で、困っている事・悩んでいる事を声に出し、共有し、つながることで、明日からの支援や連携がスムーズになるような会議になりました。

第2回 地域福祉ネットワーク推進会議

＜東地域＞「発達障害の见えない特性～地域で出来る工夫って何だろう？～」

当事者の方の見え方・感じ方・言葉の伝わり方を疑似体験することで、より特性を理解し、それに沿った支援方法を考えるとともに、当事者の方が地域で不自由なく生活ができるヒントを学びました。

＜中地域＞「ひきこもり 家族の体験談

（学校に行けない子どもと向き合った日々と親たちの集まりの場で支えられた親）」

体験談を聞くことで、より身近に考える事が出来たことと、教育と福祉がよりつながらないと難しい問題であることを理解できました。

＜西地域＞「こんな時どうする?!ホームレス支援の実態を聞こう！」

普段、関わる事が殆どない業務を知ること、業務内容は違っても、相談の課題の本質は同じかもしれないという事を学ぶ良い機会になりました。

東地域福祉ネットワーク推進会議



中地域福祉ネットワーク推進会議

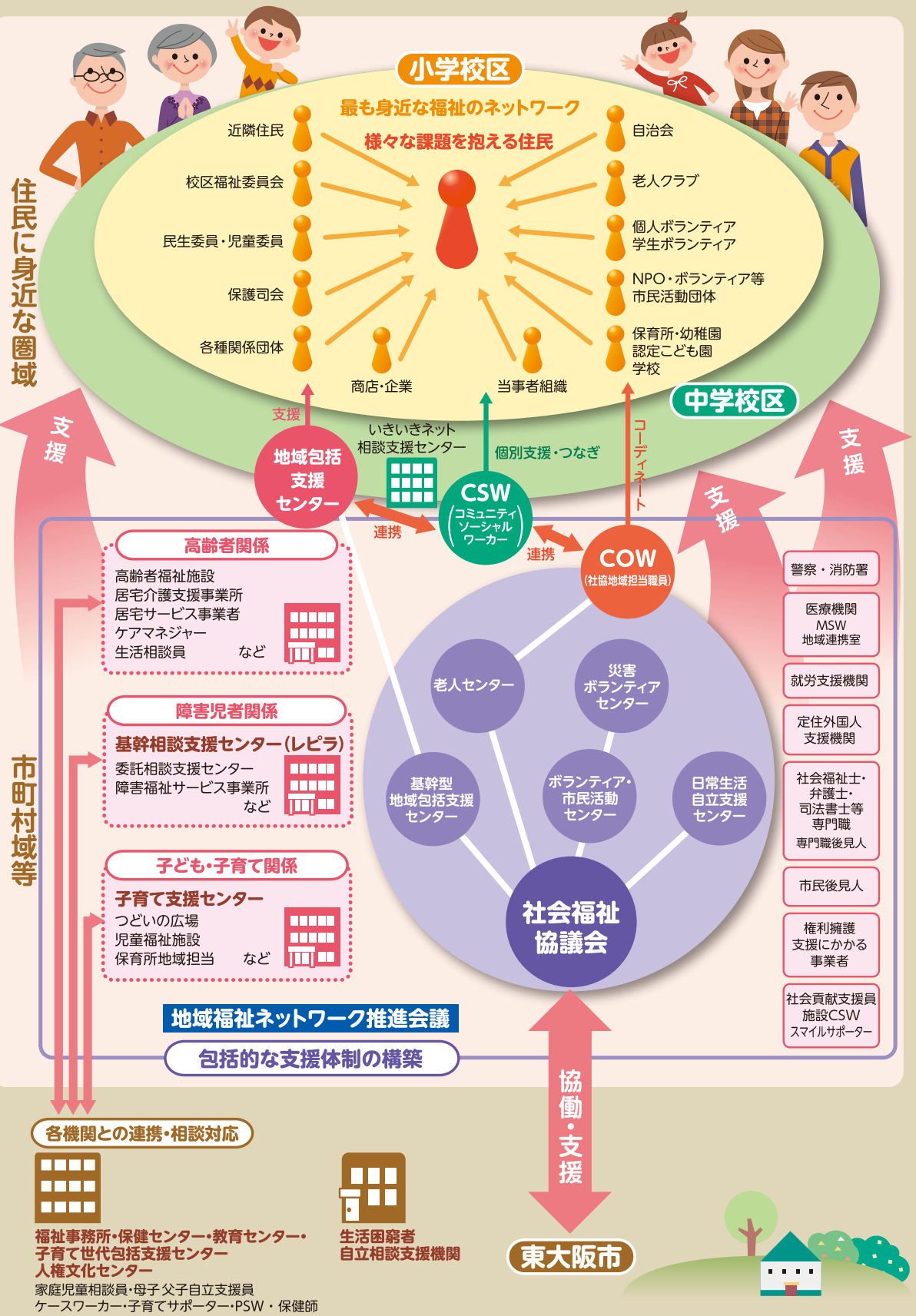


西地域福祉ネットワーク推進会議



今後も、「どの分野のどの機関につなげるのが適切か」の判断のヒントや「この問題にはこの専門機関のこの人に」という「顔の見える関係づくり」を構築していきます。

わたしたちを支える地域福祉のネットワーク

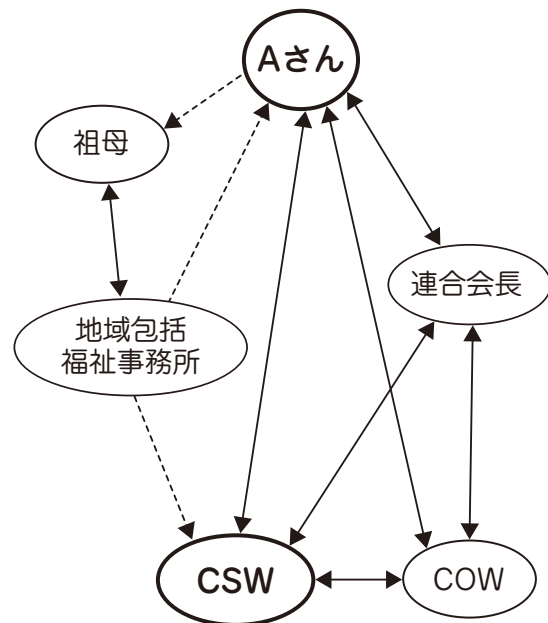


個別支援から地域支援へつながった事例

【相談概要】

「**Aさん**は引っ越ししてきたばかりで土地勘がない。金銭管理が苦手で連絡手段もないが、今後支援が必要と考えられる。**Aさん**は全く必要性を感じていないが、見守り訪問してほしい。」と地域包括支援センターより連絡が入り支援を開始した。

【支援後のエコマップ】



【事例概要】

- ・ **Aさん**女性（20代）、ひとり暮らし。
- ・ 精神疾患があり、通院中。障害者手帳はなし。

【CSWが関わる前】

- ・ **Aさん**は、高校卒業後、他県でアルバイト生活をしていた。
- ・ その後、大学受験を目指して帰郷したが、家族関係が悪く唯一頼れる祖母の元へ行くも同居することはできなかった。
- ・ 祖母との関わりがある地域包括支援センターと福祉事務所が協力し、**Aさん**は救護施設へ入所となる。
- ・ 数日後**Aさん**は救護施設から再び祖母の元へ戻ったが、やはり同居はできず、**Aさん**は他地域で生活保護を申請しひとり暮らしをしていくこととなる。
- ・ **Aさん**には、今後何らかの支援が必要と感じた地域包括支援センターは、**CSW**に見守りを依頼する。

【CSWの対応】

- 月×日 CSWは、訪問するが不在。
- ×+4日 再度訪問しAさんに会うことができた。所持金がなく、2,3日食事を摂っていないと言うので、事務所に保管していた緊急食材を渡す。
- ×+5日 社会貢献支援員と同行し、生活保護費が支給されるまでの間の食材支援を行う。
- ×+17日 生活保護支給日後に訪問し、今後のお金の使い方の相談や、病院へ受診予約を入れる。
- ×+47日～ 1ヶ月単位で見守り訪問するも、不在が続く。CSWはその間メッセージをポストイングする。
- ×+287日 AさんがCSW事務所へ来所。「生活が苦しく、どうしていいか分からない。」との相談。話を聞くと、「1ヶ月分の生活費を落としてしまい、その後切り詰めて生活していたが、食費がなくなり、数日間何も食べていない。」と話す。CSWは事務所に保管していた緊急食材を渡す。
- ×+300日 AさんがCSW事務所に来所。家賃の支払いが自転車操業になっていて、生活が苦しいということで再度社会貢献支援員へ食材支援を依頼する。また、「部屋が汚く、掃除がしたい。自分ではできないのでヘルパーを利用したい。」と相談があった。CSWは、手続きに時間がかかることを説明する。CSWは、Aさんからは異臭がし清潔な状態でないように見受けられたので、Aさんの健康状態を考慮し、自宅での入浴が出来るようにいち早く掃除をしなければならないと感じた。
- ×+304日 他地域を担当するCSW2名の協力も得てAさんと一緒に部屋の清掃を行う。
- ×+305日 Aさんが来所。「掃除のおかげで気持ちもスッキリし、よく眠れた。」とお礼に来られる。再度、食材支援を依頼されるも、以前から回数が多くなっていて、宅配弁当を提案し了解される。Aさんとの雑談の中で、「同世代の友人や話し相手が欲しい。」との発言があり、CSWは「何か今、やりたいことや好きなことはないか？」と聞くと、「動物が好き。絵を描くことも好き。」と返答があった。動物好きのAさんに保護犬カフェをしている福祉の事業所を紹介し見学の予約を入れる。
- ×+311日 Aさん宅へ近況を知るために訪問。以前から書き溜めているという絵を見せて頂く。CSWはAさんの絵はとても上手く、この才能と前向きな気持ちを何かに活かさないかと考える。
- ×+312日 社会福祉協議会の地域担当職員に「Aさんの絵を活かせる場所はないか。」と相談する。「地域で行われるサロンのチラシの挿絵イラストはどうだろう。」と提案をもらう。
- ×+314日 チラシを発行している連合会長宅へ地域担当職員と同行し、経緯を説明する。連合会長から了承を頂き、Aさんの体調を考慮しながら実施する事が決まる。すぐに、Aさんに「挿絵イラストをボランティアでやってみませんか？」と提案すると、「やってみたい！」と表情が明るくなった。Aさんは、その日のうちにイラストを完成させて、事務所へ届けてくださる。
- ×+330日 無事にチラシが完成し、回覧板や掲示板で掲載される。掲示板を見たAさんの嬉しそうな表情は今も忘れない。

【考察】

Aさんとなかなか会えない日が続きましたが、初めて面談した際に、若くて可能性が満ちあふれていると感じ、何か活かせることはできないかと思いました。継続的な訪問により信頼関係を築くことができ、また、日ごろから地域活動に熱心な連合会長の柔軟な対応があったからこそ、地域担当職員と共に個別支援から地域支援へとつなぐことができたと考えています。

【スーパーバイザーからのコメント】

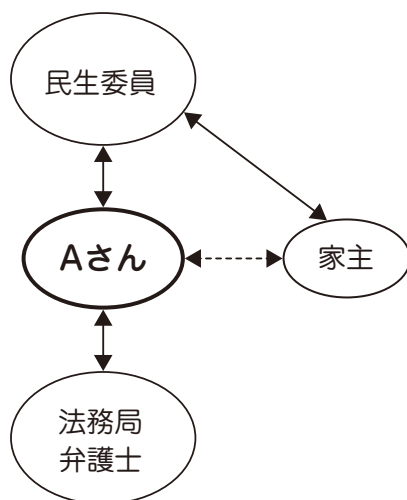
本事例は、CSWが面接を重ね信頼関係を構築する過程の中で、Aさんの持っている力（イラストが得意）を発見し承認することで、少しずつAさん自身の自己有効感を高めていき、地域との社会関係を構築していったエンパワメントアプローチの好例です。また、CSW単独ではなく、日頃から地域との信頼関係を築いている地域担当職員との他職種協働によるコミュニティ・ソーシャルワーク支援であるともいえます。

民生委員と協働して社会的孤立を予防した事例

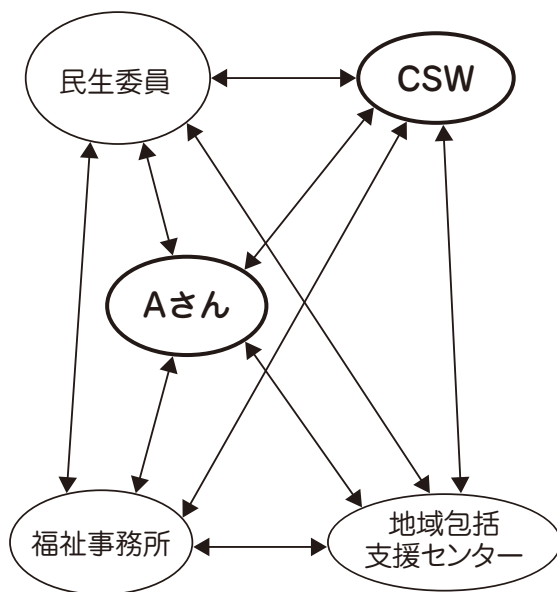
【相談概要】

民生委員より、「荷物がいっぱい、部屋に入ることもできず困っているAさんのことで、家主より相談があった。CSWも一緒にかかわってもらえないか。」と相談がはいる。

【支援前のエコマップ】



【支援後のエコマップ】



【事例概要】

- ・Aさんは70代ひとり暮らし。障害者手帳3級を所持し、障害年金と生活保護で生活されていた。
- ・数か月前に転倒し左腕を骨折。腕には金具が入っている状態で、体が思うように動かない様子。
- ・室内にあふれている荷物は、衣類・かばん・新聞雑誌類が多く玄関にも高く積まれていて、Aさんは数日前から部屋へ入れなくて困っていた。
- ・家主からAさんに「一緒に片付けしましょう」と何度か声掛けしていたが、Aさんは「自分で片づけます」と頑なに拒んでいた。家主は仕方なくAさんに退去してほしいと伝え、家賃の受け取りを拒否していた。
- ・Aさんはどうしたらいいのかわからず市の法律相談で弁護士に相談。弁護士はAさんの代理人となり、法務局に家賃について供託をした。

【CSWの対応】

- 月×日 民生委員よりCSWに相談が入る。
- ×+1日 民生委員・家主とCSWはAさん宅を訪問。家主はどうしていいかわからないと困っておられた。Aさんは、玄関前で床に座り荷物の整理をされていた。CSWは、Aさんと同じ目線の位置で「どうされましたか」と声掛けしてAさんの想いを伺う。Aさんは下を向きながら小声で「片付けたいと思っているがなかなかうまくいかない。家主から出て行ってほしいと言われ、家賃も受け取ってくれないのでショックで」と悩んでいた。CSWは「手伝いますよ、Aさんの困っていることを話してください。一緒に考えていきましょう。」と声掛けする。民生委員からも「部屋に入れないのも困るだろう。私も手伝うので片付けしていきましょう」と優しく声をかけられる。Aさんは少し上を向き「うん」と返事され表情も少し緩んだ感じがした。室内にも荷物がいっぱい寝る場所などは見当たらなかった。民生委員の好意で、近所の賃貸住宅の部屋や生活用品を一時的に借りることができ、Aさんは久しぶりに室内で寝ることができた。帰社後、CSWは福祉事務所、地域包括支援センターに状況を伝える。
- ×+2日 Aさん、民生委員、地域包括、CSWで荷物の片付けを始める。処分する荷物は近所の倉庫にいったん保管していただき後日廃棄、新聞雑誌類は障害者の事業所に回収を依頼する。Aさんの家賃については、民生委員が仲介役となり家主に受け取ってもらえるようになった。
- ×+3日 CSWはAさんに同行して法務局に出向き、供託の取り下げの手続きをする。Aさんは、家賃を受け取ってもらえて良かったと安堵されていた。その後、ほぼ毎日皆で荷物を片付ける。
- ×+8日 片付けの最終日となる。民生委員はAさんの今後について心配され、「荷物をいっばいにしないことや、整理整頓することを条件に、このままこの部屋に住んだらどうか。」と提案してくださる。Aさんはうれしそうな表情でうなずかれる。
- ×+21日 CSWは、Aさんの様子を見るため訪問。介護保険の申請について、Aさんの了解が得られたので地域包括に連絡する。
- ×+27日 地域包括・CSWはAさん宅を訪問、地域包括より介護保険サービスについて説明される。Aさんはご自分で申請すると話される。
- ×+42日 CSW外出時にAさんに偶然出会う。Aさんは介護保険の申請書を提出したと話される。その後、介護保険の認定がおりたので地域包括とともにサービスの利用を勧めるが、Aさんは、まだ自分で頑張るとサービスは利用されていない。民生委員や地域包括、CSWは時々訪問し、見守りを継続している。

【考察】

Aさんは、相談当初心を閉ざされていたが、民生委員の優しい声掛けや地域包括・CSWの働きかけによって、少しずつ打ち解けていかれた。また、日ごろから地域に貢献し信頼されている民生委員の様々な協力と迅速な対応のおかげで、Aさんは住まいを失うことなく安心して生活することができた。今後も民生委員をはじめとする地域の方々とのつながりを大切にしていきたいと感じた。

【スーパーバイザーからのコメント】

本事例の主な特徴は、下記の2点です。①最初、CSWの声かけに消極的であったAさんに対して、寄り添い非審判的態度で接して、十分に傾聴・受容しながら伴走型支援を行うことで、Aさんとの信頼関係を築き支援につなげていった点。②CSWが、当初は近隣の住民と日頃から疎遠で社会的孤立に陥る可能性が高いAさんと、Aさんを心配しながらも現在の状況を迷惑と感じている方の双方の想いに寄り添って、民生委員、地域包括、CSWが部屋の片付けに協力するなど、両者の関係を修復・改善するように丁寧に対応している点。CSWの当事者の想いに寄り添った支援の好例です。

CSWの相談件数と主な内容について

1)相談者による分類

相 談 者		令和元年度	
		人数	割合%
1	本人	275	25.5%
2	親族	112	10.4%
3	近隣の方・知人	46	4.3%
4	公的機関	225	20.9%
5	民生児童委員／校区福祉委員	119	11.0%
6	福祉施設／介護事業所	243	22.5%
7	学校関係者	35	3.2%
8	当事者団体の方	0	0.0%
9	その他	24	2.2%
合 計		1,079	100.0%

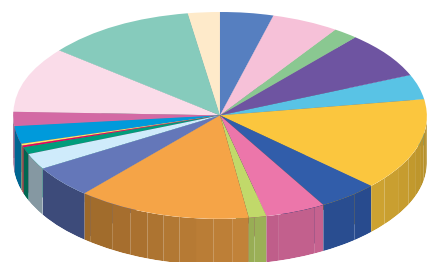
2)援護を必要とする者(要援護者)による分類

要 援 護 者		令和元年度	
		人数	割合%
1	ひとり暮らしの高齢者	246	22.8%
2	高齢者のみからなる世帯	75	7.0%
3	その他の高齢者	109	10.1%
4	身体障害者	56	5.2%
5	知的障害者	88	8.2%
6	精神障害者	200	18.5%
7	子育て中の親(一人親)	96	8.9%
8	児童・学生	16	1.5%
9	生活困窮者	140	13.0%
10	難病の方	1	0.1%
11	その他	52	4.8%
合 計		1,079	100.0%

3)相談内容による分類

相 談 内 容		件数
1	介護保険に関すること	2,152
2	障害者自立支援制度に関すること	2,603
3	子育て・子どもの教育に関すること	1,073
4	生活保護制度に関すること	3,565
5	年金制度に関すること	1,950
6	健康・医療に関すること	7,179
7	経済的援助に関すること	2,372
8	財産管理に関すること	2,350
9	消費者問題に関すること	776
10	身の回りの世話に関すること	6,688
11	就労に関すること	2,501
12	施設入所に関すること	1,256
13	D V・虐待に関すること	609
14	ホームレスに関すること	107
15	地域活動・ボランティアに関すること	218
16	その他の福祉制度に関すること	1,327
17	近隣トラブル	1,110
18	家族関係	5,190
19	身の上相談(生活に関する身近な相談)	5,770
20	その他	1,189
合 計		49,985

相談内容による分類のグラフ



- 1. 介護保険に関すること
- 2. 障害者自立支援制度に関すること
- 3. 子育て・子どもの教育に関すること
- 4. 生活保護制度に関すること
- 5. 年金制度に関すること
- 6. 健康・医療に関すること
- 7. 経済的援助に関すること
- 8. 財産管理に関すること
- 9. 消費者問題に関すること
- 10. 身の回りの世話に関すること
- 11. 就労に関すること
- 12. 施設入所に関すること
- 13. D V・虐待に関すること
- 14. ホームレスに関すること
- 15. 地域活動・ボランティアに関すること
- 16. その他の福祉制度に関すること
- 17. 近隣トラブル
- 18. 家族関係
- 19. 身の上相談(生活に関する身近な相談)
- 20. その他

地域の方や専門機関からのメッセージ

地域の方から

民生委員として経験の浅かった冬のことでした。近所の公園に家庭環境が原因で野宿する60代の男性がおられました。軽い障害もあり、なんとかしてあげねばとの思いにかられるものの対応に苦慮していました。そんな時先輩委員からCSWさんを紹介していただきました。CSWさんの家族への親身なアドバイスと関係機関への適切なアプローチで問題を解決へと導いていただきました。

その後もいろいろ困った時はCSWさんに相談し支援いただいています。社会環境の変化により、援助を必要とする人は増加し民生委員活動も増々難しくなることが予測されます。今後ともCSWの皆様ご支援よろしくお願いいたします。

地域の方から

校区連合会長（自治会）をしている。CSWさんには、防災訓練や敬老のつどい、カーリンコン大会など校区行事の際には、何かと頼りにし、力を貸してもらっている。しかし、CSWさんがどんなことをしているのか、一般に理解している人は、少ないのではないと思う。私は以前、「独居老人のゴミ屋敷状態の家を清掃するのに、立ち会ってほしい」と頼まれたことがある。立ち会って、現場を目の前に見て「こんな支援をする人が地域にいるのだ」と、驚きと同時に感心したことを覚えている。地域には、様々な事情で、色々な課題を抱えた人がいる。

CSWさんは、そういう人に手をさしのべ、支援をする。頑張ってもらいたいと思う。

地域の方から

民生委員になって二十七年が過ぎました。一番若輩だった私も一番年長者となり、仲間を束ねる立場となりました。昔、民生委員は名誉職的な色合いが濃いものでしたが、今や、民生委員に求められる仕事は多方面にわたり、専門的な知識や活動も求められていると思います。そんな時、CSWは私達民生委員にとって本当に頼りになる存在です。『見て見ぬふりをしない！何かあればCSW等の専門職につなげよう！』を合言葉に、私は仲間の委員を指導しています。今、頼りにされるCSW、頼りにされる民生委員が求められています。頭でっかちではない、精力的に活動し結果を出してくれる人材が求められている。そのような気がしてなりません。

専門機関から

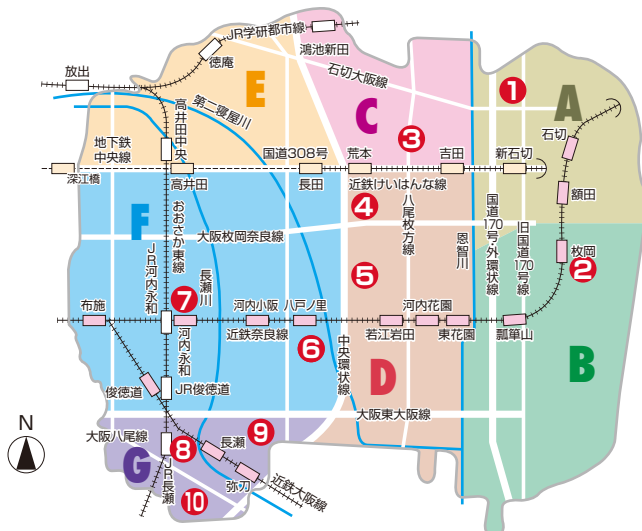
「CSWさん。」その言葉を聞くだけで、安心を感じるくらい、CSWさんとの関わりが年々深くなっており、地域にとっても、関係機関にとってもかけがえのない存在になっていると思います。精神疾患のある方、8050問題、多頭飼育、ゴミ屋敷等々、地域包括支援センターだけではどうにもならない問題もCSWさんが関わってくれることで、安心です。まさに福祉界のオールマイティーな存在。だれから必要とされ、だれからも頼られる。食材で言うと・・・豆腐のような存在。麻婆豆腐ではメインにもなるし、鍋料理には欠かせない。みそ汁にしたら毎日でも食べられるし、体調が悪い時でもあっさり食べられる。小さな赤ちゃんから高齢者まで安心して食べられる。そんな存在です。これからも頼りにしていますので、よろしくお願いします。

COW(社協地域担当職員) 配置施設一覧

担当校区及び リージョン区域		施 設 名 地 所 在 地
A	石切 切東 石切 舎街 孔舎 岡西 枚岡	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立五条老人センター 五条町9-45 地図② TEL.072-985-3751 FAX.072-986-7592
B	枚岡 東南 縄手 上四 縄手 北島 池	
C・D	成鴻 和 池 東 北 宮 加 納 弥 栄 英 田 英 田 北	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立角田総合老人センター 角田2-3-8 地図③ TEL.072-962-8011 FAX.072-963-2020
D	玉川 美 玉田 西 岩田 江 若 園 花 北 花 串 玉	
E・F	森河 内 楠岐 根 意 部 高井 東 高井 西 小 阪 八戸ノ里	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立高井田老人センター 高井田元町1-2-13 地図⑦ TEL.06-6789-3751 FAX.06-6789-9174
F・G	荒川 川 長堂 瀬 三ノ 西 菱屋 和 永 平 太 寺 上 小 八戸ノ里東	
G	長瀬 北 長瀬 西 長瀬 南 弥刀 東 柏 田	

CSW(コミュニティソーシャルワーカー) 配置施設一覧

担当中学校区 義務教育学校区		施 設 名 地 所 在 地
A	孔舎街 石切	社会福祉法人 仁風会 相談支援センター ビオスの丘 日下町4-1-42 地図① TEL.072-986-0294 FAX.072-986-9003
B	縄手北 枚岡	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立五条老人センター 五条町9-45 地図② TEL.072-986-7673 FAX.072-986-7592
B	くずは縄手 縄手	
C	池島学園 盾津	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立角田総合老人センター 角田2-3-8 地図③ TEL.072-962-8265 FAX.072-963-2020
C	盾津東 英田	
D	玉川 花園	社会福祉法人 青山会 とうふく 菱屋東2-4-21相栄ロイヤルビル604号 地図⑤ TEL.072-968-8065 FAX.072-968-8076
D	意岐部 若江	街かどデイハウス すすめの学校(分室) 荒本1-1-24 地図④ TEL.06-6781-2002 FAX.06-6781-2002
E	楠根 高井田	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立高井田老人センター 高井田元町1-2-13 地図⑦ TEL.06-6789-7206 FAX.06-6789-9174
F	小阪	社会福祉法人 ひびき福祉会 アクティビティーセンターひびき 中小阪5-14-23 地図⑥ TEL.06-6732-1127 FAX.06-6725-6522
F	新喜多 長栄	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会 東大阪市立高井田老人センター 高井田元町1-2-13 地図⑦ TEL.06-6789-7206 FAX.06-6789-9174
G	金岡 布施	NPO法人 ヒューマンライツ・ながせ21 蛇草障害者作業所「パオ」 長瀬町3-6-8 地図⑧ TEL.06-6729-2825 FAX.06-6729-9346
G	弥刀 上小阪	社会福祉法人 真優福祉会 さつきこども園 近江堂2-6-30 地図⑨ TEL.06-6730-8780 FAX.06-6730-8790
G	柏田 長瀬	社会福祉法人 インクルーシブライフ協会 衣摺4-1-8関西ハイツ1階 地図⑩ TEL.06-6725-2754 FAX.06-6729-5016



相談の受付は
月曜日から金曜日の午前9時～午後5時
相談は無料です